

小児歯科学研究の変遷

鶴見大学歯学部小児歯科学講座 主任教授
朝 田 芳 信

1970年当時、ライオン歯磨株式会社（現ライオン（株））の小林富次郎社長が、歯科疾患の現状を憂い、適切な施策を立てるためには口腔衛生学ならびに小児歯科学分野の研究推進が不可欠であるとの考えから富徳会研究助成が始まり、50年余が過ぎようとしています。

小児歯科学分野における研究助成金支給者は、50年間で延べ473名を数え、32名（うち9名が現役）の先生方が教授へ昇進され、小児歯科学および小児歯科医療の発展に寄与されています。研究助成が開始された1970年前後は、子どものむし歯が日本中に蔓延し「むし歯の洪水」と呼ばれた時代でした。1975年の歯科疾患実態調査によれば、3歳児と5歳児のう蝕有病者率はそれぞれ82.1%と94.3%で、一人平均う蝕数はそれぞれ5.98本と8.92本と驚くべき数値であり、まさしく小児の口腔疾患＝むし歯の時代でした。そのため、1970年代の研究助成テーマは、小児歯科臨床に直結するものが多く、小児う蝕の疫学、乳歯の根管形態に関する研究、広範性う蝕の口腔細菌叢に関する研究、窩溝充填材の歯髄への影響、フッ化ジアンミン銀の局所塗布によるう蝕予防、小児の食物摂取とう蝕の関連性など、齲蝕の原因や治療、齲蝕の進行抑制、予防に関する内容が大勢を占めていました。1980年代に入り、小児の口腔環境とう蝕に関する研究、う蝕と食事療法との関連性、隣接面う蝕に関する研究など、齲蝕治療だけではなく口腔環境や生活習慣の重要性に目を向けた研究テーマがみられるようになりました。また、乳歯および幼若永久歯の外傷と後継永久歯への影響に関する研究、行動変容技法に関する研究、幼若永久歯の根管治療、摂食機能や咀嚼運動、歯列咬合と顎顔面頭蓋の形態学的研究など幅広い研究テーマが助成対象となり、さらには、動物モデルを用いた基礎研究が助成の対象となり始めています。1990年代では、依然としてう蝕有病者率は高止まりであり、齲蝕予防の重要性が再認識される中で、1990年代に入り Bis - GMA を主成分としないレジン系シーラントが開発され、さらにフッ素徐放性ポリマーを配合し、ガラスイオノマーセメントと同様の抗齲蝕作用を期待したレジン系シーラントも開発され、その種類は多岐にわたるようになりました。このような背景から、シーラント材に関する研究テーマが増加しました。また、開咬を有する小児の口腔筋圧や下顎運動に関する研究、小児の咀嚼運動パターンと顎運動に関する研究など歯列・咬合に関する研究テーマが増え、口腔機能の育成にも目が向けられ始めました。そして、動物モデルを用い、唾液腺障害とう蝕誘発性細菌の関連性や母子間の細菌伝播によるう蝕への影響など、臨床を意識した基礎研究が増え始めた時期でもあります。2000年代では、齲蝕や歯周病の予防・治療に繋がる細胞学的・分子生物学的手法を用いた基礎研究が盛んになり、キーワードやテーマとして、モデルマウス、マイクロアレーハイブリダイゼーション、RNA ワクチン、齲蝕の遺伝的要因、RT - PCR 法による齲蝕リスクファクターの解析、歯根の形態形成に関わる遺伝的要因などが挙げられます。一方で、臨床研究においては、齲蝕病原性細菌のバイオフィームに関する研究や歯周病関連バイオフィームの検出方法の評価と開発など、口腔バイオフィーム感染症とし

での齲蝕や歯周病が注目され始めた時期でもありました。さらに、2010年代では、臨床応用可能な新材料に関する研究テーマや画像診断法、乳歯歯髄細胞株の樹立と歯髄細胞による神経再生医療への応用など、研究テーマが分子生物学的手法を用いた解析、細胞培養系やDNA解析など大型プロジェクトに関わる研究テーマが多くみられるようになりました。また、ミュータンスレンサ球菌と感染性心内膜炎や慢性腎炎発症リスクなど医科歯科連携の重要性を念頭においた研究テーマが助成対象となりました。2020年代も同様に、小児歯科領域に留まることなく、研究テーマが他分野との連携により高度化してきています。当然のことながら、歯科医学の進歩は日進月歩であり、歯の再生に向けたプロジェクトも現実味を帯びており、さらに乳歯歯髄幹細胞を用いた再生医療に関わる研究では、基礎から臨床応用を見据えた大型プロジェクトが展開されています。

近年、子供達の口腔環境は大きく改善されましたが、新たな問題も浮かび上がってきています。1つは齲蝕の二極化です。そして、その要因として貧困や虐待との関係、保護者の口腔保健に対する意識レベルの違い、酸蝕歯や歯種特異的に発症するエナメル質形成不全（MIH）が挙げられます。また、口腔機能の発達に問題を抱える子供達の増加も顕在化してきています。一方で、児童虐待の早期発見に有効な口腔内所見については、う歯数や重症度などが関連することはわかっているものの、虐待を疑う根拠となる数値の提示までには至っていません。さらに、その他の徴候（ストレスなどが誘因となる口腔習癖）についても、研究レベルでの調査が行われていないのが現状です。さらに、平成30年（2018年）に、健全な子供達への歯科的アプローチが必要であるとの認識のもと、『「食べる機能」、「話す機能」、または「呼吸する機能」が十分に発達していないか、正常（定型的）に機能獲得ができていない状態で、明らかな摂食機能障害の原因疾患を有さず、口腔機能の定型発達において個人因子あるいは環境因子に専門的な関与が必要な状態』を口腔機能発達不全症と定義し、保険収載されましたが、口腔機能の発達に関する臨床研究データが不足していることも事実です。

今後の小児歯科分野における研究の方向性としては、他分野との連携により質の高い基礎研究の歩みを加速させることは勿論ですが、臨床データの蓄積から臨床エビデンスを作り上げることも重要なアクションプランといえます。是非、若手研究者には明日の臨床に繋がる有益な情報となる臨床研究にも目を向けてもらいたいと思います。

小児歯科学部門

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1971	親里 嘉健	大阪歯科大学 大学院	胎仔の歯顎硬組織における Tetracycline の取 込み	稗田 豊治	20
	大竹 邦明	日本大学 歯学部	健康教育における視聴覚器材の応用に関する研 究	深田 英朗	20
	薬師寺 仁	東京歯科大学 小児歯科部	乳歯根管形態に関する研究	飯塚 嘉一	20
	梶井 美香	東京医科歯科大学 歯学部	乳歯の汚染判定法	山下 浩	20
1972	天羽 公男	大阪歯科大学 大学院	蛍光法による着色乳歯の検査法に関する研究	稗田 豊治	30
	池田 孝雄	鶴見女子大学 歯学部	乳歯生活断絶法の臨床細菌学的研究	大森 郁郎	30
	小国 征哉	日本大学 歯学部付属病院	咬合に関する研究	深田 英朗	30
	坂井 正彦	日本大学 歯学部付属病院	乳歯アマルガム修復の口腔内での変化の微細構 造の追求	菊池 進	30
	祖父江鎮雄	大阪大学 歯学部付属病院	床型保険装置の隣接歯と接触面に填塞した SrF ₂ 配合セメントの白斑形成に対する抑制効 果について	土屋 裕彦	30
1973	本橋 正史	日本大学 歯学部	小児う蝕の疫学	深田 英朗	30
	人見 晃司	愛知学院大学 歯学部	歯の形成に関する研究	岡本 清纓	30
	池村美智子	九州大学 歯学部付属病院	油症（塩化ビフェニル中毒）のカルシウム代謝へ の影響の有無の研究	青野 正男	30
	五十嵐清治	北海道大学 歯学部	乳歯の広範性う蝕患者の口腔細菌叢の動向	岡田 泰紀	30
	濱本 義人	城西歯科大学	歯の交換の組織科学的研究	五島 秀男	30
	三浦 一生	広島大学 歯学部	乳酸飲料が歯牙におよぼす影響について	常光 旭	30
	木村 興雄	東京医科歯科大学 歯学部	乳歯の変色に関する研究	山下 浩	30
	鈴木 俊行	大阪大学 歯学部	フッ化ジアミン銀の局所塗布によるう蝕の予防	土屋 裕彦	30
	羽野 健敏	岐阜歯科大学	重金属イオン処理象牙質有機成分に対する酵 素の作用	吉田 定宏	30
1974	加藤 正憲	愛知学院大学 歯学部	ヒト乳歯ならびに幼犬乳歯についての研究	黒須 一夫	30
	萩原 和彦	日本歯科大学	治療完了後の咬合の推移に関する研究	菊池 進	30
	小河 隆秀	日本大学 歯学部	心身障害児における歯科学的研究	深田 英朗	30
	楨本 光	鶴見大学 歯学部	窩溝充填材の歯髄に及ぼす影響	大森 郁郎	30
	大橋 健治	岐阜歯科大学	歯質有機質に対する作用機序からう蝕抑制の開 発	吉田 定宏	30
	西村 一光	日本大学 松戸歯科大学	沖縄における先天性風疹症候群児の歯科学的 研究	栗原 洋一	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1974	大東 道治	大阪歯科大学	乳児における Taurodontism の研究	稗田 豊治	30
	真柳 秀昭	東北大学 歯学部	乳歯列における歯垢と歯科疾患の相関に関する疫学的	島田 義弘	30
1975	弥富 尚文	神奈川県歯科大学	歯質表面構造の生化学的研究とその臨床応用	檜垣 旺夫	30
	吉田 昊哲	東京歯科大学	乳歯列期における歯列の成長発育と口蓋並びに歯槽部の成長発育との関連性について	町田 幸雄	30
	道家 臻	大阪歯科大学	乳歯の根管治療に関する研究	稗田 豊治	30
	洪井 尚武	日本歯科大学	各種シーラントのう蝕抑制効果について	菊池 進	30
	鈴木 康生	東京医科歯科大学 歯学部	小児の食物摂取とう蝕の関連について	山下 浩	30
	濱本 義人	城西歯科大学	歯の交換の組織化学的研究	五嶋 秀男	30
	金子信一郎	岩手医科大学 歯学部	乳歯歯髄切断時の加圧による歯髄への影響に関する	甘利 英一	30
	杉山 道男	新潟大学 歯学部	咬合誘導と予防矯正学についての臨床学的研究	福原 達郎	30
1976	柴崎 貞二	日本大学 歯学部	小児の咬合に関する筋電図学的研究	深田 英朗	30
	鈴木 駿介	東京医科歯科大学 歯学部	乳歯う蝕の電気抵抗値による診断	山下 浩	30
	大西 雄三	広島大学 歯学部	乳酸飲料が歯牙におよぼす影響 (特に形態学的研究)	井上 時雄	30
	土屋 友幸	愛知学院大学 歯学部	小児の歯科処置時の情動変化に関する心理生理学的	黒須 一夫	30
	三戸 応則	大阪歯科大学	成長発育に伴う乳歯・永久歯の生歯及び交換期における歯周組織の変化に関する研究	稗田 豊治	30
	大出 祥幸	日本歯科大学	乳歯歯髄処置の永久歯萌出に及ぼす影響について	菊池 進	30
	内村 登	神奈川県歯科大学	低年齢児のう蝕罹患状況の経年的研究	檜垣 旺夫	30
	菊地 一嘉	鶴見大学 歯学部	コンポジットレジン充填窩洞の辺縁封鎖性に関する	大森 郁郎	30
	竹永 憲一	岐阜歯科大学	筋電図による小児の口腔機能の成長発育について	吉田 定宏	30
1977	本川 涉	福岡歯科大学	有機燐酸エステルのエナメル質初期脱灰に及ぼす影響について	吉田 譲	30
	高橋 喜一	日本歯科大学 新潟歯学部	乳歯窩洞の光弾性実験	下岡 昭八	30
	保沢 静	愛知学院大学 歯学部	歯科診療環境が小児の情動に及ぼす影響	黒須 一夫	30
	浜野 良彦	東京医科歯科大学 歯学部	小児の混合歯列期において永久歯の将来の状態を予測する新しい予測新療法について	小野 博	30
	杉原 惇	東京歯科大学	歯列の成長発育並びに口蓋・歯槽部の成長発育の関連性について	町田 幸雄	30
	神原 修	大阪歯科大学	唇裂、口蓋裂患者の早期咬合管理法に関する研究	稗田 豊治	30
	柳沢 宗光	日本大学 歯学部	六歳臼歯の経時的う蝕罹患について疫学的に調査する研究	深田 英朗	30
	岡本 誠	大阪大学 歯学部	NO2PO3F 配合セメントによる幼若永久歯咬合面う蝕の予防と臨床応用について	川村洋二郎	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1977	五十嵐公英	東北大学 歯学部	小児口腔内歯垢の臨床的 pH 測定	上山紀久男	30
	山本千鶴子	神奈川歯科大学	乳歯列完成に亘る歯列の成長発育について	檜垣 旺夫	30
1978	渡辺 達夫	愛知学院大学 歯学部	心身障害児の歯科治療への笑気吸入鎮静法の応用	黒須 一夫	30
	原 秀一	日本歯科大学	癒合歯を有する乳歯列の形態学的研究	菊池 進	30
	中尾 哲之	鶴見大学 歯学部	接着性コンポジットレジン 歯冠修復の歯髄反応の研究	大森 郁郎	30
	河村 訓陸	岐阜歯科大学	乳歯列反対咬合の検討	吉田 定宏	30
	斉藤 峻	東北大学 歯学部	乳歯う蝕の組織学的研究	上山紀久男	30
	高木 裕三	東京医科歯科大学 歯学部	生理的乳歯根吸収に関する研究	小野 博	30
	向井 美恵	昭和大学 歯学部	外来患者のう蝕罹患状況とブラッシング指導後の追跡調査	佐々 竜二	30
	大嶋 隆	大阪大学 歯学部	動物実験系を用いた歯牙う蝕の病因論に関する研究	祖父江鎮雄	30
	楯野 英実	神奈川歯科大学	小児歯科における X 線の医療被曝に関する研究	檜垣 旺夫	30
1979	新里 正武	東北大学 歯学部	唇顎口蓋裂患者の小児歯科的管理に関する研究	上山紀久男	30
	関本 恒夫	日本歯科大学	乳歯列の排列と永久歯列の排列の関連性	菊池 進	30
	前田 光宣	岐阜歯科大学	乳歯アマルガム充填にみられる腐食産物の分析	吉田 定宏	30
	森崎市治郎	大阪大学 歯学部	小児期の齲蝕の細菌学的及び免疫的研究	祖父江鎮雄	30
	井上美津子	昭和大学 歯学部	外来小児患者に対する口腔衛生指導とその評価	佐々 竜二	30
	高野 文夫	鶴見大学 歯学部	乳歯及び幼若永久歯エナメル質中の微量元素の分布	大森 郁郎	30
	細矢由美子	東京歯科大学	酸処理象牙質面へのコンポジットの侵入について 本学小児歯科における乳歯歯冠修復法の実態調査	町田 幸雄	30
	福地 節子	日本大学 松戸歯学部	小児の発育及び構音状態と保隙装置の関連性について	栗原 洋一	30
	峰岸 秀夫	城西歯科大学	顎顔面の成長発育の研究	五嶋 秀男	30
1980	福田 理	愛知学院大学 歯学部	小児の歯牙切削時の行動変化に関する研究	黒須 一夫	30
	尾崎 貞宣	大阪歯科大学	小児期における歯の外傷についての研究	稗田 豊治	30
	倉持 治彦	日本大学 松戸歯学部	乳歯の形態学的研究	栗原 洋一	30
	中野 育子	九州大学 歯学部	精密レプリカ法によるシーラント予防充填後の観察	中田 稔	30
	中田 孝子	広島大学 歯学部	低年齢児のウ蝕予防を乳児期、幼児期から、その対策を考える	長坂 信夫	30
	小野 孝明	神奈川歯科大学	母子に対するウ蝕活動性試験(カリオスタット)の応用とその関連性について	檜垣 旺夫	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1980	森山 賢児	城西歯科大学	小児顎骨の経年的変化(年齢別)における下顎孔及び大口蓋孔の位置について	五嶋 秀男	30
	小林 暁	日本大学 歯学部	小児歯肉色の研究	深田 英朗	30
	石川 雅章	東京医科歯科大学 歯学部	乳臼歯早期喪失症例における保隙効果並びに永久側方歯の配列	小野 博志	30
	田村 康夫	岐阜歯科大学	永久歯歯根の成長、乳歯歯根の吸収に伴う歯根膜感覚に関する筋電図学的研究	吉田 定宏	30
1981	米山 博己	日本歯科大学	乳歯への傷害が後継永久歯胚及び周囲組織に及ぼす影響	菊池 進	30
	松村 裕	愛知学院大学 歯学部	乳歯根管充填剤の改良に関する研究	黒須 一夫	30
	山田 貢司	日本歯科大学 新潟歯学部	歯科診療室における小児の異常行動の発見分類法	下岡 正八	30
	木沢 清	鶴見大学 歯学部	乳歯 FC 断髄処置歯の交換過程についての観察	大森 郁郎	30
	山田 博	日本大学 歯学部	乳歯列期の Down 症候群児の口蓋形態について	深田 英朗	30
	峰 正博	大阪歯科大学	新しい歯垢清掃具(チューイング・ブラシ)についての研究	稗田 豊治	30
	千葉 秀樹	大阪歯科大学	乳歯列期後期から、混合歯列期中期にかけての小児の顎、顔面歯列咬合の成長変化を頭部 X 線規格写真と歯列模型を用い分析予測する	神山紀久男	30
	山下 篤子	昭和大学 歯学部	小児の口腔内環境とウ蝕罹患傾向との関連の研究	佐々 竜二	30
	富沢美恵子	新潟大学 歯学部	小児ウ蝕と全身疾患との関連について	野田 忠	30
	渡部 茂	東日本学園大学 歯学部	重症心身障害児の唾液の性状と無機成分について	五十嵐清治	30
	峰松小百合	広島大学 歯学部	5 年間にわたる 2 才児のウ蝕実態調査	長坂 信夫	30
	毛利 元治	九州大学 歯学部	レプリカ法による乳歯コンポジットレジン充填の電顕的観察	中田 稔	30
	守口 修	岩手医科大学 歯学部	歯冠と歯肉形態の関連性	甘利 英一	30
	今西 秀明	大阪大学 歯学部	Streptococcus mutans の産生するバクテリオシンについて	祖父江鎮雄	30
1982	間下 喜一	日本歯科大学	習癖をもつ小児(3~6歳)を調査し、軟組織の形態の変化を習癖の種類別に観察し、又、硬組織への影響も検討する	菊池 進	30
	萩田 修二	愛知学院大学 歯学部	乳歯隣接面ウ蝕に関する研究	黒須 一夫	30
	山口 和史	岐阜歯科大学	小児の咬合に関する節電図学的研究	吉田 定宏	30
	岡崎 篤	鶴見大学 歯学部	混合歯列期の咬合機能に関する節電図学的研究	大森 郁郎	30
	三輪 全三	東京医科歯科大学 歯学部	小児における歯髄感覚の客観的検出法に関する研究	小野 博志	30
	赤羽 康彦	日本大学 松戸歯学部	乳歯重症ウ蝕に関する免疫学的研究	栗原 洋一	30
	小出 武	大阪歯科大学	小児のウ蝕感受性に関する臨床研究	稗田 豊治	30
	牧口 哲英	昭和大学 歯学部	6歳臼歯萌出期における患児保護者の口腔衛生意識及び口腔衛生状態の推移について	佐々 竜二	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1982	堤 修郎	大阪大学 歯学部	フッ化物の乳歯ウ蝕抑制効果の作用機序を理化学的手法と細菌学手法を用いて解明し、新しい予防剤を開発することである	祖父江鎮雄	30
	山口 政彦	新潟大学 歯学部	乳歯のウ蝕崩壊による咬合高径の現象と顎・顔面頭蓋の発育について	野田 忠	30
	山田 恵子	東北大学 歯学部	小児歯科領域におけるレーザーによるウ蝕予防に関する研究	神山紀久男	30
	宮城 敦	神奈川歯科大学	幼若永久歯の成熟（萌出後）について	檜垣 旺夫	30
	盛島美智子	城西歯科大学	モアレ・トポグラフィ法を導入して小児の顔面並びに歯列弓の成長・発育について三次元的な究明を行う	五嶋 秀男	30
	関口 浩	東京歯科大学	経年石膏模型について暦齢として7歳6ヶ月より9歳6ヶ月、歯牙年齢として永久中切歯及び永久側切歯の歯齦前後1年間にわたり上下顎側方歯群部の歯列・歯槽部、口蓋の成長発育について	町田 幸雄	30
1983	北村陽太郎	日本大学 歯学部	乳歯列完成前後における歯列弓形態の発育変化、正常咬合者と前方交叉咬合者の歯列弓形態の比較	深田 英朗	30
	犬塚 勝昭	(財)ライオン歯科衛生研究所	乳歯咬合 distal step type における顎顔面頭蓋の形態学的研究	黒須 一夫	30
	千田 隆一	東北大学 歯学部	小児における歯垢の酸産能	神山紀久男	30
	堀口 浩	岐阜歯科大学	予防填塞に関する研究—酸腐蝕エナメル質に及ぼすフッ化物溶液の影響	吉田 定宏	30
	田中 英一	鶴見大学 歯学部	乳歯FC 断髄処置がその後継永久歯に及ぼす影響について	大森 郁郎	30
	内藤 敏幸	日本大学 松戸歯学部	乳歯重症ウ蝕に関する基礎的研究	栗原 洋一	30
	泉谷 明	大阪大学 歯学部	スクロースの異性体パラチノースのウ蝕に及ぼす作用	祖父江鎮雄	30
	天野 秀昭	広島大学 歯学部	電気抵抗値による歯質の厚径に関する研究	長坂 信夫	30
	進士 久明	神奈川歯科大学	乳歯歯質の地域的特性に関する定量的分析	檜垣 旺夫	30
	斉木 隆	日本歯科大学	乳歯列の正常咬合、不正咬合の形態的研究	菊池 進	30
	橋本 吉明	東京医科歯科大学 歯学部	1. 埋伏過剰歯の研究（埋伏歯の様態、位置確認に関する研究）、 2. 歯列弓の成長変化に関する研究	小野 博志	30
	坂詰 香子	新潟大学 歯学部	全身疾患を持つ小児の歯科治療	野田 忠	30
	田中丸治宣	東京歯科大学	出齦後年齢からみた幼若永久歯に対する合金金インレーの臨床成績	町田 幸雄	30
	内田 武	昭和大学 歯学部	現在、心身障害児の歯科治療は様々の医療機関において行われつつあるが口腔管理の一つである口腔衛生指導に関しては手つかずの状態である。本学小児歯科外来を訪れた心身障害児及び施設における心身障害児を対象に各々の障害別にまず歯ブラシの取り除くことから始め、ブラッシングの自立を目標にステップ毎に指導のポイントを検討する。	佐々 竜二	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1984	今村 基遼	愛知学院大学 歯学部	1. 乳歯根尖性歯周炎と後継永久歯胚の関係 2. 乳歯根管充填剤に関する研究 3. 小児の口腔細菌に関する研究	黒須 一夫	30
	神山 博光	日本歯科大学 新潟歯学部	小児唾液に含まれる低分子量ペプチドの分画像とウ蝕罹患性に関する研究	下岡 正八	30
	野中 和明	九州大学 歯学部	ラット顎顔面頭蓋の成長における遺伝要因の寄与率の経時的変化の解明	中田 稔	30
	棚瀬 精三	岐阜歯科大学	予防填塞に関する研究	吉田 定宏	30
	大野 秀夫	鹿児島大学 歯学部	発達期における機能的咬合の研究特に発達期後半の機能異常の疫学的及び臨床的研究	小椋 正	30
	嘉藤 幹夫	大阪歯科大学	小児の頭蓋、顔面部の骨及び筋肉や歯列弓及び歯槽部の成長、発育量を計測、分析することにより、小児の正常な成長発育を分類解析することを研究	稗田 豊治	30
	辻川 裕久	城西歯科大学	小児の口蓋の成長発育をモアレトポグラフィ法を用いて経年的に観察を行っている。成長発育によりあまり変化を受けない基準点を設定し縦断的研究を行っていく	五嶋 秀男	30
	遠山 孝之	東京医科歯科大学 歯学部	外傷幼若永久歯の臨床的研究	小野 博志	30
	熊坂 純雄	神奈川歯科大学	乳歯歯質の部位別定量分析について	檜垣 旺夫	30
	米津 卓郎	東京歯科大学	1歳6ヶ月から2歳又3歳に至る間の小児の咬合状態の変化及び口腔習癖の変化の研究。同じく1歳6ヶ月から3歳に至る間の小児のう蝕活動性についてと低年齢児の口腔内の変化、推移についての研究	町田 幸雄	30
	秋山 育也	広島大学 歯学部	乳歯隣接面ウ蝕に関する研究	長坂 信夫	30
	柚木 裕子	北海道大学 歯学部	ヒト口腔癌の発癌遺伝子に関する研究	及川 清	30
	佐藤 豊	北海道大学 歯学部	Bacteroides gingivalis のトリプシン蛋白質分解酵素の研究	及川 清	辞退
1985	平田 順一	日本大学 歯学部	大テーマ 摂食行動の学際的研究 小テーマ 1. 食品の物性による分類 2. 食品の物性による咀嚼筋活動量の変化	赤坂 守人	30
	太田 一夫	日本歯科大学	光重合コンポジットレジン of 光照射終了後の重合反応の進行について硬度を指針として研究を行う	菊池 進	30
	岡部 旭	昭和大学 歯学部	第一大臼歯のウ蝕罹患予防をする意義は大きく、萌出途上に於いてウ蝕に罹患する率が高い。そこで出齦より咬合面に達する迄の歯垢の付着状態を調べ、ウ蝕予防に役立てるものである。	佐々 竜二	30
	河田 典雄	愛知学院大学 歯学部	浸潤麻酔時における情動変化に関する研究	黒須 一夫	30
	安福 美昭	大阪大学 歯学部	バクテリオシンのウ蝕予防への応用に関する研究	祖父江鎮雄	30
	旭爪 伸二	鹿児島大学 歯学部	小児の咬合の機能的発達に関する研究	小椋 正	30
	山崎 博史	新潟大学 歯学部	小児の口腔領域の機能的発達	野田 忠	30
	有田 憲司	徳島大学 歯学部	歯の交換に関する因子の解明	西野 瑞穂	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1985	成田 真幸	北海道大学 歯学部	口腔癌における B-N-アセチルヘキソサミニダーゼアインザイムの variant	及川 清	30
	尾木 啓司	城西歯科大学	1. 生活環境と歯肉炎の相関性について重症心身障害児(者)を対象として調査研究を行っている。 2. 切歯骨の発育に関する研究	五嶋 秀男	30
	猪狩 和子	東北大学 歯学部	グルタルアルデヒドの生活歯髓切断法への応用に関する組織学的研究	神山紀久男	30
	久芳 陽一	福岡歯科大学	小児歯科臨床に於いて歯髓切断法は欠く事のできない歯髓の生物学的処置である。これまでの断髄法では Roundbar, Spoon excavater 等を用いて行っている為、断髄創面に凹凸を与える等の物理的損傷を生じやすく、止血面でも問題が多い。そこで現在注目を浴びているレーザー光線によるレーザー光の集光径を変化させることにより凝固、止血が行われ、創傷面に与える損傷を少なくする事ができる上、止血や感染予防もできるのではないかと考えた。まず幼犬の乳歯に的をしぼり、経日的変化や根尖に及ぼす影響などを X 線学的並びに病理組織学的に検索を行いたい。	吉田 穰	30
	国崎 幸史	鶴見大学 歯学部	機能を果たし終えた乳臼歯咬合面のコンポジットレジン修復の断面観察を行いその辺縁及び窩洞内部の実態及び問題点を明らかにするとともに口腔内で長期間経過した修復材の窩壁適合状態がどのようなものであるかについて顕微鏡的観察を行う。	大森 郁郎	30
	金銅 克典	松本歯科大学	フォルマリングアヤコールを使用した根管充填における病理組織学的観察	今西 孝博	30
	鍋島 耕二	広島大学 歯学部	乳歯萌出に関する研究	長坂 信夫	30
1986	鈴木 克政	日本歯科大学	歯胚の発育に対するヨードホルムの作用について	菊池 進	30
	松本 敏秀	九州大学 歯学部	歯の成長に関する遺伝学的研究	中田 稔	30
	唐沢 茂光	松本歯科大学	低年齢幼児の口腔健康管理に関する研究	今西 孝博	30
	沖田 祐治	徳島大学 歯学部	Streptococcus mutans の疫学的、血清学的分類とその bacteriocin (mutacin) に関する研究	西野 瑞穂	30
	河原 茂	大阪歯科大学	乳歯列期から永久歯列完成期までの歯列の変化とこの時期の上下顎の顎骨を対象と三次元的に立体化して表現することによって正常な永久歯列に導く要因、又は歯列不正を惹起させる要因について解明することによって現在おこなわれている咬合誘導法について検討を加える。	稗田 豊治	30
	谷 博司	日本大学 松戸歯学部	種々の近交系マウスの Streptococcus mutans に対するウ蝕感受性について	栗原 洋一	30
	奥田 令以	朝日大学 歯学部	脱灰アパタイトの結晶成長過程	吉田 定宏	30
	重根 充	神奈川歯科大学	小児の歯周疾患に関する研究	檜垣 旺夫	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1986	樂木 正実	大阪大学 歯学部付属病院	(1) フッ素以外にモリブデン及びアンモニウムイオンを含むフッ化物であるフッ化モリブデン酸アンモニウム溶液について動物実験で明らかにされた抗ウ蝕作用のメカニズムを in vitro の実験により解明する。 (2) 新しい歯科材料としてリン酸カルシウム系セラミックスの開発を行いその物理化学的な性質及び生物学的な影響を試験する。	祖父江鎮雄	30
	加藤 純二	東京医科歯科大学 歯学部	根未完成歯の根管処置法の確立	小野 博志	30
	高橋 真朗	昭和大学 歯学部	最近低年齢児のウ蝕の減少化がみられるが地域によってはいまだに乳歯ウ蝕の蔓延化が生じているところも少なくない。低年齢児のウ蝕は哺乳習慣、口腔清掃状態、口腔機能発達との関連性も高く、特に上顎前歯部のウ蝕の状態及び口腔環境等を調査検討して効果的なウ蝕予防指導を確立しようとするものである。	佐々 竜二	30
	田口 洋	新潟大学 歯学部	小児の口腔領域の機能的発達	野田 忠	30
	櫻井 聡	東北大学 歯学部	微小トランジスタ F 電極 (F-ISFET) による歯垢中 F- 濃度の連続測定と pH の関連性についての研究	神山紀久男	30
	尾崎 正雄	福岡歯科大学	行動変容技法による小児の取り扱いについて	吉田 穰	30
	高岡 雅夫	鶴見大学 歯学部	光重合シーラントによる幼若永久歯小窩列溝ウ蝕の進行抑制効果に関する研究	大森 郁郎	30
	館 尚子	北海道大学 歯学部	乳歯歯根吸収過程における走査型電子顕微鏡学的研究	及川 清	30
	福島 真弓	鹿児島大学 歯学部	小児の疫病的疫学的研究と地域の医療の把握がテーマである	小椋 正	30
	後藤 邦之	愛知学院大学 歯学部	上下顎乳臼歯部における窩溝部の形態的研究	黒須 一夫	30
桜井 達	城西歯科大学 歯学部	歯帯孔の組織学的研究	五嶋 秀男	30	
1987	矢田 育男	福岡歯科大学	修復用ガリウム合金に関する研究	吉田 穰	30
	高橋 実	日本歯科大学 新潟歯学部	歯科治療室に入室する際の小児患者の情動変化	下岡 正八	30
	河野美砂子	新潟大学 歯学部付属病院	第一大臼歯の萌出過程に関する研究	野田 忠	30
	緒方 哲朗	九州大学 歯学部	小児の咬合の成長、発育に関する研究	中田 稔	30
	広瀬 由治	日本大学 歯学部	摂食機能についての研究	赤坂 守人	30
	藤居 弘道	東京歯科大学	乳歯及び幼若永久歯に対する歯肉療法処置に関する研究	町田 幸雄	30
	三浦みつ子	日本歯科大学	再植した幼若永久歯の根尖並びに歯周組織の病理組織学的研究	菊池 進	30
	香西 克之	広島大学 歯学部	生薬によるウ蝕抑制剤の開発	長坂 信夫	30
	笹井 浩司	朝日大学 歯学部	歯牙交換機における歯と歯周組織に対する周波数応答の解析に関する研究	吉田 定宏	30
	菊池 賢司	徳島大学 歯学部	イソプロテレノールによる耳下腺増殖作用に及ぼす上皮成長因子の影響について	西野 瑞穂	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1987	本間 秋彦	神奈川歯科大学	小児における歯肉炎、若年性歯周炎の遷移について	檜垣 旺夫	30
	勝山 博文	鶴見大学 歯学部	コンポジットレジン修復乳歯の in situ における咬耗と材料変化に関する研究	大森 郁郎	30
	三原 丞二	大阪大学 歯学部付属病院	フェニトイン（ディランチン）性歯肉肥大症における免疫学的研究	祖父江鎮雄	30
	畑 弘子	東北大学 歯学部付属病院	pH 低下曲線パターンと有機酸組成の分析による歯垢のウ蝕誘発性の評価	神山紀久男	30
	平井志都子	鹿児島大学 歯学部	小児の下顎限界運動の推移について	小椋 正	30
1988	島田 幸恵	昭和大学 歯学部	小児歯科における歯周疾患実態調査	佐々 竜二	30
	會田 栄一	愛知学院大学 歯学部	小児の咬合に関する研究（習慣性咬頭嵌合位の位置および面積）	黒須 一夫	30
	大西 敏雄	日本大学 歯学部	脳性麻痺者各種食品咀嚼時の積分筋電図について	赤坂 守人	30
	長谷川浩三	東京歯科大学	各種刷掃法の最適歯磨圧、歯磨圧測定装置	町田 幸雄	30
	篠田 圭司	朝日大学 歯学部	小児の咀嚼運動パターンと顎運動に関する研究	吉田 定宏	30
	石川 隆義	広島大学 歯学部	小児歯科臨床心理に関する研究	長坂 信夫	30
	市野 浩司	九州大学 歯学部	幼少児の口腔疾患に関する疫学的調査	中田 稔	30
	佐藤 直芳	明海大学 歯学部	乳歯と永久歯の交換現象における歯髓組織のエネルギー代謝の特性	五嶋 秀男	30
	清水 保	鶴見大学 歯学部	酸処理エナメル質再石灰化におよぼす HEBP の影響	大森 郁郎	30
	門馬 裕子	東北大学 歯学部付属病院	レーザー照射による幼若永久歯エナメル質小柱構造変化について	神山紀久男	30
	朝田 芳信	日本大学 松戸歯学部付属病院	(1) マウスの <i>S.mutans</i> に対するう蝕感受性の遺伝学的制御に関する研究 (2) マウスの <i>S.mutans</i> に対するう蝕感受性とくに唾液蛋白について	栗原 洋一	30
	佐々木重夫	東北歯科大学	小児のう蝕予防を主眼とした疫学的研究	佐藤 博	30
	長谷 則子	神奈川歯科大学	乳幼児歯科検診に関する研究	檜垣 旺夫	30
	新井 桂	北海道大学 歯学部付属病院	<i>Streptococcus mutans</i> における酸素代謝と酵素誘導に関する研究	及川 清	30
	浜地 宏哉	日本歯科大学	小児における口腔内清掃効果の判定に関する研究	菊池 進	30
	飯島 英世	東京医科歯科大学 歯学部	小児の顎運動に関する研究	小野 博志	30
1989	野江 康郎	北海道大学 歯学部付属病院	摂食周期に依存した生体リズム—特に小児の情動変化との関連について	及川 清	30
	笠原 正江	昭和大学 歯学部	患児及び保護者の背景を考慮した効果的ブラッシング指導	佐々 竜二	30
	丸山 宏己	愛知学院大学 歯学部	接着性コンポジットレジンの乳歯歯髓への影響	黒須 一夫	30
	阿部 慶子	大阪大学 歯学部付属病院	低リン血症性ビタミン D 抵抗性くる病患者乳歯の病理組織学的及び結晶学的研究	祖父江鎮雄	30
	石井ヒロ子	新潟大学 歯学部付属病院	顎骨中における乳歯根と永久歯歯胚の位置関係について	野田 忠	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円	
1989	石井 香	福岡歯科大学	日・韓小児の歯科実態調査	吉田 穰	30	
	藤野 訓正	奥羽大学 歯学部	小児の歯科領域の硬組織及び軟組織疾患の疫学的研究	佐藤 博	30	
	尾関利恵子	日本大学 松戸歯学部	小児の口腔軟組織疾患の実態とその背景	栗原 洋一	30	
	中川 弘	徳島大学 歯学部	小児歯科診療時の協力性に関する研究	西野 瑞穂	30	
	岡崎 雅子	鹿児島大学 歯学部附属病院	顎関節雑音の音響学的分析と臨床的意義	小椋 正	30	
	岩井 泰介	広島大学 歯学部附属病院	小児口腔由来の黄色ブドウ球菌に関する研究	長坂 信夫	30	
	清水 良昭	明海大学 歯学部	モアレトポグラフィ法による Down 症候群児の顔貌解析	五嶋 秀男	30	
1990	辻 裕子	日本歯科大学 附属病院	乳歯列過蓋咬合者の水平的・垂直的咬合の特性に関する研究	菊池 進	30	
	早崎 治明	九州大学 歯学部	小児の顎運動の経時的変化に関する研究	中田 稔	30	
	河野 隆之	日本大学 歯学部	口蓋床装着による口腔筋圧の経時的な変化について	赤坂 守人	30	
	大西 暢子	東北大学 歯学部	開咬を有する小児の口腔筋圧に関する研究	神山紀久男	30	
	豊島正三郎	鹿児島大学 歯学部附属病院	小児歯科における咬合誘導について乳白歯に対するシーランの応用について	小椋 正	30	
	若松 紀子	朝日大学 歯学部	アミンフロライドの歯質強化の作用機序について	吉田 定宏	30	
	井出 正道	鶴見大学 歯学部	混合歯列期の咬合機能に関する筋電図学的研究	大森 郁郎	30	
	小笠 原靖	福岡歯科大学	小児期の脳頭蓋および顔面頭蓋と歯列弓に関する研究	本川 掬	30	
	浜田 作光	神奈川歯科大学	乳歯萌出期における歯列の発育変化に関する研究	檜垣 旺夫	30	
	木暮 エリ	新潟大学 歯学部	小児の肉肉良性腫瘍の臨床病理学的観察	野田 忠	30	
	長井 博明	東京医科歯科大学 歯学部	ウシ永久歯と乳歯の象牙質有機基質の組成の比較	小野 博志	30	
	久保 周平	東京歯科大学	無機質球状フィラー配合の小窩裂溝充填塞材に関する臨床成績	町田 幸雄	30	
	1991	池本 博之	大阪歯科大学	小児歯科領域におけるキャストプラスチックの応用に関する研究	稗田 豊治	50
		鈴木 善子	愛知学院大学 歯学部	小児の歯磨き習慣の形成過程に関する研究	黒須 一夫	50
東 まり		日本大学 松戸歯学部	マウスによる母子間の細菌伝播による齲蝕への影響	栗原 洋一	50	
白川 哲夫		北海道大学 歯学部附属病院	レーザードップラー血流計による歯髄血流測定	小口 春久	50	
南 貴洋		大阪大学 歯学部附属病院	Streptococcus mutans のう蝕原性における酵素グルコシルトランスフェラーゼの役割	祖父江鎮雄	50	
田中 好美		日本大学 歯学部	歯の圧刺激による体性感覚誘発電位	赤坂 守人	50	
島村 和宏		奥羽大学 歯学部	小児齲蝕の疫学的研究	佐藤 博	50	
石通 宏行		広島大学 歯学部	低年齢児の歯科衛生管理に関する研究	長坂 信夫	50	

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1991	大西 峰子	東日本学園大学 歯学部	小児の食物咀嚼に関する研究	五十嵐清治	50
	池松 秀峰	明海大学 歯学部	モアレトポグラフィー法による小児の軟組顔面の成長に関する研究	五嶋 秀男	50
1992	長田 恵美	九州大学 歯学部	小児の肉肉炎発症に関する基礎的研究	中田 稔	50
	奥 猛志	鹿児島大学 歯学部	思春期の顎関節症について	小椋 正	50
	成田 優一	朝日大学 歯学部	モルモットの離乳時期に及ぼす各唾液腺の影響	吉田 定宏	50
	西村 滋美	昭和大学 歯学部	肢体不自由児に対する効果的なブラッシング指導の研究	佐々 竜二	50
	外木 徳子	東京歯科大学	理想的電動歯ブラシ開発へのアプローチ	町田 幸雄	50
	斉藤 徹	東北大学 歯学部	乳歯列期に開咬を有していた小児の混合歯列期での歯列弓形態・咬合状態に関する研究	神山紀久男	50
	水野 弥生	鶴見大学 歯学部	酸処理エナメル質再石灰化に及ぼす低濃度フッ素の影響	大森 郁郎	50
	大島 邦子	新潟大学 歯学部	口腔感覚受容機構の発育に関する形態学的研究	野田 忠	50
	栗田佐智子	日本歯科大学	根未完成永久再植歯に対する人工歯根膜の応用	菊池 進	50
	岡田 尚子	東京医科歯科大学 歯学部	唾液蛋白質の加齢的变化に関する研究	小野 博志	50
	1993	吉田 俊彦	大阪大学 歯学部	唾液分泌障害ラットにおけるう蝕誘発性細菌の探求	祖父江鎮雄
柳瀬 博		愛知学院大学 歯学部	経口投与鎮静法に関する研究	黒須 一夫	50
河野 英司		東日本大学 歯学部	顎の成長・発育に関する細胞生化学的研究	五十嵐清治	50
三留 雅人		北海道大学 歯学部附属病院	歯科診療時における小児の血中および尿中カテコールアミンの変動	小口 春久	50
吉村 譲		明海大学 歯学部	乳歯抜歯窩の治療に関する実験的研究	五嶋 秀男	50
土肥 順尚		日本大学 歯学部	チューインガム法による混合歯列期の咀嚼能力の経時的変化について	赤坂 守人	50
藤瀬多佳子		九州大学 歯学部附属病院	咀嚼の全身の成長発育に及ぼす影響	中田 稔	50
高柳 英司		朝日大学 歯学部	小児咀嚼筋活動における Asymmetry Index	吉田 定宏	50
1994	岩崎 浩	松本歯科大学	中国人小児の乳歯形態学的研究	今西 孝博	50
	望月 清志	東京歯科大学	Tetracycline による着色歯の無機成分構成の変化に関する検索	町田 幸雄	50
	久保山博子	福岡歯科大学	歯髄中のグリコサミノグリカン分離と同定一乳歯と永久歯一	本川 抄	50
	加納能理子	東北大学 歯学部	口腔レンサ球菌によるラクトスクロースの代謝	神山紀久男	50
	森 由香里	徳島大学 歯学部	リン酸カルシウムセメント (CPC) の乳歯根管充填材への応用に関する研究	西野 瑞穂	50
	白瀬 敏臣	日本歯科大学	歯周靱帯の損傷が再植した根未完成永久歯の歯周組織に及ぼす影響について	菊池 進	50
	森本 泰宏	九州歯科大学	成長発育期のラットの運動負荷における脛骨への影響	木村 光孝	50

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1994	船山 研司	東京医科歯科大学 歯学部	上顎歯槽基底の成長変化と永久前歯の配列状態の相互関係	小野 博志	50
1995	村上 正治	昭和大学 歯学部	未熟児の口腔衛生指導に関する研究	佐々 竜二	50
	青野 亘	大阪大学 歯学部付属病院	S.sobrinus の産生するバクテリオシン（ミュータシン）の解析	祖父江鎮雄	50
	岡田 貢	広島大学 歯学部	小児の歯肉炎発症のメカニズムに関する研究	長坂 信夫	50
	龍島 桂子	新潟大学 歯学部	吸啜の反射性制御機構に関する研究	野田 忠	50
	井上浩一郎	鹿児島大学 歯学部	小児における歯科疾患に関して	小椋 正	50
	高森 一乗	日本大学 松戸歯学部	乳歯歯髄培養細胞を用いた歯髄石灰化についての検索	前田 隆秀	50
	張 野	長崎大学 歯学部	髄床底部における副根管の走行に関する三次元的研究	後藤 謙治	50
1996	能地 康和	日本大学 歯学部	咬合発育段階における前方滑走運動時の矢状顎路の変化に関する研究	赤坂 守人	50
	西嶋 憲博	九州大学 歯学部	成長発育による下顎運動機能の変化	田中 稔	50
	八若 保孝	北海道大学 歯学部	感染根管を有する乳歯歯根の病的異常吸収および修復セメント質添加に関する研究	小口 春久	50
	渥美 信子	愛知学院大学 歯学部	プライマーの歯面処置効果とシーラントの接着性	黒須 一夫	50
	守安 克也	鶴見大学 歯学部	電気抵抗値による歯冠修復剤の辺縁封鎖性の評価に関する研究	大森 郁郎	50
	巢瀬 賢一	明海大学 歯学部	食物嚥下時における食塊の水分量について	渡部 茂	50
	尾辻 涉	朝日大学 歯学部	清涼飲料水中有機酸が歯質エナメル質に及ぼす影響	吉田 定宏	50
1997	斗ヶ澤真純	東北大学 歯学部付属病院	嚥下時の舌運動と口蓋形態との関連について	真柳 秀昭	50
	斉藤 亮	東京医科歯科大学 歯学部	色の変化するチューインガムを用いた小児の咀嚼能力に関する研究	高木 祐三	50
	井上 吉登	神奈川歯科大学	唇顎口蓋裂患者の顎顔面成長発育	内村 登	50
	川端 明美	松本歯科大学	象牙質レーザー照射の効果について	宮沢 裕夫	50
	郡由 紀子	徳島大学 歯学部	小児の顎口腔機能診断基準の確立	西野 瑞穂	50
	高田 圭介	福岡歯科大学	歯槽骨の生理的および病的骨吸収における、血中Ca調節ホルモンや炎症性サイトカインによる破骨細胞イオン輸送の調節機構	本川 掬	50
	新門 正広	大阪歯科大学	歯の萌出時における歯根基端部での細胞増殖・分化についての実験的研究	大東 道治	50
1998	林 芳裕	東京歯科大学	中国人小児に認められた黒色性色素沈着とう蝕の関連性について	町田 幸雄	40
	長谷川裕子	日本歯科大学 付属病院	乳歯列における形態と咬合力及び咀嚼率との関連性	萩原 和彦	40
	小林 雅之	日本歯科大学 新潟歯学部	歯科診療室における小児患者の行動管理	下岡 正八	40
	松本 道代	大阪大学 歯学部	ポリフェノールのう蝕抑制効果に関する研究	祖父江鎮雄	40

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
1998	田中 浩二	岡山大学 歯学部付属病院	幼稚園児における乳臼歯隣接面う蝕について	下野 勉	40
	福本 敏	長崎大学 歯学部	糖転移酵素遺伝子を用いた、歯周病関連筋の定着阻止法の開発	後藤 譲治	40
1999	染谷 美子	岩手医科大学 歯学部	象牙質内液移動がフッ素除放性修復材による窩洞低部再石灰化に及ぼす影響	米満 正美	40
	渡辺 聡子	東北大学 歯学部付属病院	歯周病原性細菌が産生する揮発性硫化物等の臭気物質が免疫応答に及ぼす影響について	坂本征三郎	40
	村田 貴俊	新潟大学 歯学部	リスクアプローチによる歯周病の予防	宮崎 秀夫	40
	後藤田宏也	日本大学 松戸歯学部	歯科集団検診においてのう蝕診断法に関する研究	小林 清吾	40
	田部 慎一	徳島大学 歯学部	歯周病原生細菌の産生する熱ショック蛋白質	中村 亮	40
	秋房 住郎	九州歯科大学	歯周病原生細菌の細胞分裂機構について	竹原 直道	40
	長谷川智一	北海道大学 歯学部	乳歯歯根吸収に関与する遺伝子の解析	小口 春久	40
	浅里 仁	昭和大学 歯学部	乳幼児食品の物性評価について	佐々 竜二	40
	入野田芳子	愛知学院大学 歯学部	唾液中の糖タンパク質がエナメル質の再石灰化に及ぼす影響	土屋 友幸	40
	鈴木 淳司	広島大学 歯学部	乳歯歯髓由来細胞の石灰化能に関する研究	長坂 信夫	40
	内藤真理子	九州歯科大学	軟食嗜好と口腔保健に対する意識について	木村 光孝	40
	重田 浩樹	鹿児島大学 歯学部	顎関節を含む下顎骨におけるチンキヤップとFKOの矯正力の力学的影響に関する一より生体に近い有限要素モデル構築にむけて	小椋 正	40
	2000	三富 智恵	新潟大学 歯学部	第一臼歯萌出遅延に関する研究	野田 忠
清水 邦彦		日本大学 松戸歯学部	モデルマウスを用いた口腔領域に関与する遺伝子の探索	前田 隆秀	40
高橋 康男		日本大学 歯学部	咬合変化が姿勢制御に及ぼす影響について	赤坂 守人	40
嶋田 出		日本歯科大学 新潟歯学部	永久歯における齲蝕の発生に関する研究—新規発生と再発の状況—	下岡 正八	40
高見 澤豊		鶴見大学 歯学部	エナメル質形成不全歯の透過電顕的研究	大森 郁郎	40
永田めぐみ		九州大学 歯学部	乳歯列期反対咬合児の習慣性開口運動における下顎の移動量及び回転量に関する研究	中田 稔	40
福本 敏		長崎大学 歯学部	マイクロアレーハイブリダイゼーションによる口蓋裂関連遺伝子の解析	後藤 譲治	40
2001	廣瀬 弥奈	北海道医療大学 歯学部	歯垢中ミネラル(Ca,P,F)量の口腔内部位特異性について	五十嵐清治	30
	小松 偉二	東北大学 歯学部	ヒト上顎乳中切歯歯髓血流と歯根吸収状態との関連についての研究	真柳 秀昭	30
	寺本 幸代	松本歯科大学	小児歯肉炎の疫学的研究 ロジスティック回帰分析による罹患程度と環境要因の関連について	宮沢 裕夫	30
	齋藤 美紀	東京医科歯科大学 歯学部	超音波断層法による舌の動態解析—習癖除去装置による舌動態の差異について—	高木 祐三	30
	辻野啓一郎	東京歯科大学	乳歯癒合歯の歯種と後継永久歯の先天性欠如との関連	薬師寺 仁	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2001	鈴木 昭	明海大学 歯学部	口腔前庭部の環境に及ぼす唾液の影響—唾液の流速について—	渡部 茂	30
	松澤 光洋	神奈川歯科大学	ラット骨髄由来細胞に対するエナメル基質タンパク質の分化誘導能について	内村 登	30
	小川 慶知	大阪大学 歯学部	ダウン症候群由来細胞における各種小児歯科用材料の細胞毒性について	大東 道治	30
2002	橋本 正則	北海道大学 歯学部	レジン・象牙質接着構造の長期接着耐久性	小口 春久	30
	船津 敬弘	岩手医科大学 歯学部	日本人乳歯歯冠の大きさと歯間空隙との関連	田中 光郎	30
	伊田 博	昭和大学 歯学部	小児期における歯周病の発症と歯周病原性細菌の関係	佐々 竜二	30
	河上 智美	日本歯科大学	抗腫瘍剤が歯および歯周組織の形成に及ぼす影響	大出 祥幸	30
	渡辺 直彦	愛知学院大学 歯学部	縦断的資料による永久犬歯の萌出動態に関する研究	土屋 友幸	30
	星野 倫範	大阪大学 歯学部	Streptococcus mutans に対する DNA ワクチンの構築と抗齲蝕作用についての研究	祖父江鎮雄	30
	森川 富昭	徳島大学 歯学部	インターネットを活用し地域連携が行える地域歯科保健管理システムの構築	西野 瑞穂	30
	西岡 孝浩	九州歯科大学	唾液ペルオキシダーゼ活性の臨床応用に関する基礎的研究	木村 光孝	30
2003	太田 増美	鶴見大学 歯学部	う蝕感受性を決定する宿主の遺伝要因の特定	朝田 芳信	30
	伊原 昌宏	日本大学 歯学部	小児下顎機能運動時における咬合面3次元形態と咀嚼機能の関連についての検討	赤坂 守人	30
	田中 聖至	日本歯科大学	唾液中の GTF 阻害因子の検索	下岡 昭八	30
	林 幸子	新潟大学 歯学部	ヒト歯における萌出関連因子に関する研究	野田 忠	30
	大東 希好	大阪歯科大学	糖尿病妊娠ラット母体ならびに胎児への影響について	大東 道治	30
	林 文子	広島大学 歯学部	PCR 法を用いた家族内における歯周病原性菌の分布様式	香西 克之	30
	比嘉 和	福岡歯科大学	タキキニンの催唾調節作用の解明	本川 渉	30
	石谷 徳人	鹿児島大学 歯学部	顎関節症疼痛症状に対する脳口腔機能評価基準の確立に関する研究	山崎 要一	30
2004	角田 初恵	岩手医科大学 歯学部	キシリトールを用いたう蝕予防プログラム確立に関する研究	田中 光郎	30
	畠山 雄次	東北大学 歯学部	幼若歯髄細胞に対する Growth/Differentiation Factor-5 の影響	真柳 秀昭	30
	今井 祐樹	東京歯科大学	叢生歯列を憎悪させる要因に関する研究	薬師寺 仁	30
	五十川伸崇	東京医科歯科大学 歯学部	混合歯列における超音波画像診断装置を用いた舌背形状について	高木 裕三	30
	池田 訓子	昭和大学 歯学部	歯科用新規ハイブリット材料の臨床応用に関する基礎的研究および臨床評価に関する研究	佐々 竜二	30
	西村 一美	日本大学 松戸歯学部	摂食機能の発達と脳神経ネットワークの関連について	前田 隆秀	30
	多賀谷正俊	朝日大学 歯学部	生活歯髄切断法への応用を目的とした α -TCP/Te-CP セメントの開発	田村 康夫	30
	齋藤 珠実	松本歯科大学	RT-PCR 法による発育期小児の齲蝕リスクファクターの解析	宮沢 裕夫	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2004	齋藤 幹	長崎大学 歯学部	細胞外マトリクス蛋白によるエナメル質形成のメカニズム解析	藤原 卓	30
2005	工藤 理子	東北大学 歯学部	悪性腫瘍療法と永久歯形成障害との相関に関する研究	真柳 秀昭	30
	桐本 明子	東京医科歯科大学 歯学部	軟骨前駆細胞における石灰化に関する研究	高木 裕三	30
	南 真紀	明海大学 歯学部	再石灰化療法の確立—口腔内唾液停滞量, PH, フッ素イオンの関与—	渡辺 茂	30
	京泉みゆき	昭和大学 歯学部	小児の形態成長と機能発達に関する研究	佐々 竜二	30
	有田浩一朗	鶴見大学 大学院	齲蝕易罹患性に対するリスク判定導入のための基礎研究	朝田 芳信	30
	福島 秀文	福岡歯科大学 大学院	歯根吸収活性因子の同定	本川 渉	30
	齋藤 一誠	鹿児島大学 大学院	乳歯列期小児における不正咬合が顎口腔機能系に与える影響に関する研究	山崎 要一	30
	渡邊 京子	大阪歯科大学	歯周疾患の病態変化に及ぼす Adenosine 関連代謝物の影響	大東 道治	30
2006	福田 敦史	北海道医療大学 大学院	歯垢中の mutans streptococci における口腔内部位特異性について	五十嵐清治	30
	曾根 信哉	岩手医科大学 歯学部	歯の萌出過程における細胞外基質および細胞外基質分解酵素の発現に関する研究	田中 光郎	30
	丸谷由里子	東北大学 大学院	乳歯歯周組織形成における GDF-5 の MMPs に対する影響	真柳 秀昭	30
	山口 美菜	神奈川歯科大学	ポリホスホセリンを応用した新しい齲蝕予防法と修復法	木本 茂成	30
	杉山 智美	昭和大学 歯科病院	齲蝕発生に伴う構音機能の変化とその予防	井上美津子	30
	中山 聡	松本歯科大学	抗菌性モノマー配合接着システムの予防填塞材への応用	宮沢 裕夫	30
	進賀知加子	岡山大学 医学部・歯学部附属病院	コンピュータプログラム“カリオグラム”の日本人小児における臨床的有用性の検討	下野 勉	30
	吉村 剛	広島大学 病院	細胞学的・分子生物学的手法を用いた齲蝕抑制物質の研究	香西 克之	30
	渡辺 幸嗣	九州歯科大学	16bit のデジタル X 線画像撮影装置によるラットの骨密度測定ソフトウェアの開発	牧 憲司	30
	近藤 好夫	長崎大学 大学院	Porphyromonas gingivalis の生体内環境における病原性発現調節機構の解明	藤原 卓	30
2007	中村 光一	北海道大学 大学院	ガラスイオノマーセメントのフッ素徐放性及び歯牙への影響について	八若 保孝	30
	茂木 瑞穂	東京医科歯科大学 大学院	齲蝕病原性細菌のバイオフィルムに関する研究	高木 裕三	30
	黒木 洋祐	日本大学 歯学部	顎顔面領域における成長発育に伴う経時的骨変化の X 線学的検討	白川 哲夫	30
	青柳 暁子	日本歯科大学 生命歯学部	マウス臼歯歯根形成におけるヘルトヴィッヒ上皮の組織構築と運命	苅部 洋行	30
	古宇田ゆき	鶴見大学 歯学部大学院	咬合様式の違いが咀嚼筋の筋形成過程に及ぼす影響について	朝田 芳信	30
	竹内 瑞穂	松本歯科大学	乳歯歯冠修復に適した材料の選択	宮沢 裕夫	30
	飯澤二葉子	新潟大学 大学院	萌出障害歯の萌出能と歯根膜の組織活性の関係についての組織的・分子生物学的調査	田口 洋	30
	齋藤 陽子	鹿児島大学 医学部・歯学部附属病院	呼吸からみた小児の歯科治療時における安全指標に関する検討	山崎 要一	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2007	岩本 勉	九州大学 病院	新規細胞—細胞間蛋白質の象牙芽細胞分化における機能解析	野中 和明	30
2008	高崎 千尋	北海道大学 病院歯科診療センター	摂食機能発達の臨界器を制御する分子の組織学的解析	八若 保孝	30
	相澤志津子	東北大学 大学院	新規歯面コート材のウ蝕予防効果について	福本 敏	30
	今井 りえ	東京歯科大学	ラット歯胚硬組織形成に及ぼす胎児性アルコール症の影響	新谷 誠康	30
	田島 格	鶴見大学 大学院	歯根の形態形成に関与する主要遺伝子の特定	朝田 芳信	30
	市橋 幸子	朝日大学 歯学部	歯の早期喪失は海馬神経細胞の新生を制御する	田村 康夫	30
	角本 法子	広島大学 大学院	骨髄移植前免疫抑制下における 3DS を用いた全身感染予防プログラムの開発	香西 克之	30
	藤田 優子	九州歯科大学	小児のメタボリックシンドロームが骨の成長発育に及ぼす影響	牧 憲司	30
	山本 晋也	鹿児島大学 医学部・歯学部附属病院	マウス顎下腺器官培養システムを用いた顎下腺形態形成における PDGF の機能解析	山崎 要一	30
2009	倉重 圭史	北海道医療大学 歯学部	活性型ビタミン D3 による抗細菌性ペプチド発現変化についての検討	五十嵐清治	30
	柿野 聡子	東京医科歯科大学 歯学部付属病院	透過型光電脈波法を応用した歯髄血液酸素飽和度測定のための光化学的基礎研究	高木 裕三	30
	割田 幸恵	日本歯科大学 生命歯学部	CPP-ACP を応用した再石灰化象牙質による新たな齲蝕予防システムの構築	荻部 洋行	30
	高橋 昌司	明海大学 歯学部	清涼飲料摂取後口腔内環境および唾液の緩衝能に関する研究	渡辺 茂	30
	青木 伯永	松本歯科大学	歯周病関連細菌と環境要因	宮沢 裕夫	30
	川崎 勝盛	新潟大学 医歯学総合病院	食物摂取時における一口量調節因子の成長発育変化	田口 洋	30
	葉山 康臣	福岡歯科大学	咀嚼機能測定システムを用いた小児の咀嚼機能に関する研究	本川 渉	30
2010	竹嶋麻衣子	北海道医療大学 歯学部	培養マラッセ上皮様細胞が歯周疾患に与える影響	五十嵐清治	30
	今村 由紀	東京医科歯科大学 歯学部付属病院	リン酸カルシウムセメントの乳歯用歯科材料への応用	高木 裕三	30
	島津 貴咲	日本歯科大学 生命歯学部	小窩裂溝初期齲蝕の高度石灰化とプラーク形成抑制をを可能にするシーラント材の新開発	荻部 洋行	30
	岩崎真紀子	日本大学 歯学部	乳歯および幼若永久歯に対する DIAGNOdent-pen の有効性に関する基礎研究	白川 哲夫	30
	小西 博和	鶴見大学 歯学部	近交系マウスのフッ化物局所応用に対する宿主感受性について	朝田 芳信	30
	水谷 智宏	松本歯科大学	生体吸収性高分子材料による乳歯用スクリーポスの開発	宮沢 裕夫	30
	金城奈津子	新潟大学 医歯学総合病院	歯限局型低ホスホターゼ症を引き起こす病態の酵素学的解析	早崎 治明	30
	坪井 文	広島大学 病院	小児がん治療における口腔粘膜病変の発現予防プログラムの開発	香西 克之	30
2011	岡野 哲	朝日大学 歯学部	小児期における舌小帯退縮が構音発達に及ぼす影響	田村 康夫	30
	熊澤 海道	東京歯科大学 千葉病院	Amoxicillin 投与と歯の形成不全との関連について	新谷 誠康	30
	布施 春香	昭和大学 歯学部	小児口腔における歯周病原生細菌の伝播と定着にプラーク構成多糖が及ぼす影響の解明	井上美津子	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2011	新垣真紀子	東北大学 病院	人工多能性幹細胞を用いた歯原性細胞分化誘導法の開発	福本 敏	30
	武元 嘉彦	鹿児島大学 大学院	捕食動作の三次元運動解析による新たな食事支援法の確立	山崎 要一	30
	岡本 卓真	愛知学院大学 歯学部	発達障害児における歯科疾患罹患性の多面的研究	福本 理	30
	榎本 紋香	九州歯科大学 大学院	乳歯歯質中 Sr の溶出挙動と齲蝕感受性との関連性	牧 憲司	30
2012	中村 侑子	日本歯科大学 大学院	抗腫瘍薬シクロフォスファミドがマウスの歯周組織に及ぼす影響	荻部 洋行	30
	田中 裕子	日本大学 歯学部	乳歯および幼若永久歯に対する DIA GNODentopen の齲蝕深度測定精度	白川 哲夫	30
	西俣かおる	長崎大学 大学院	授乳期における Bifidobacterium の存在と哺乳齲蝕との関連性	藤原 卓	30
	村井 雄司	北海道医療大学 歯学部	Lamotrigine による上皮細胞機械的防御機構への関与	齊藤 正人	30
	宗正 隆明	鶴見大学 歯学部	亜鉛トランスポーター Slc39a13/Zip13 の KO マウス臼歯のコラーゲンの異常について	朝田 芳信	30
	南川 元	北海道大学 大学院	抗酸化アミノ酸を用いた新規歯科材料の開発	八若 保孝	30
	倉田 知香	朝日大学 歯学部	咀嚼運動が海馬のシナプス形成に及ぼす影響	田村 康夫	30
	稲田 絵美	鹿児島大学 附属病院	モーションキャプチャを用いた小児歯磨きを動作解析と新しい歯ブラシ形態の考案	山崎 要一	30
2013	中畠 幸恵	東京医科歯科大学 歯学部	非侵襲断層画像診断法 OCT を用いた乳歯の診断	小野 芳明	30
	篠永ゆかり	大阪歯科大学	プラズマイオン注入成膜法を用いたフッ素及び銀イオン注入による口腔内装置表面への抗菌性・歯垢易離脱性付与に関する研究	有田 憲司	30
	山崎 由衛	岡山大学 大学院	犬歯周病原細菌 Porphyromonas gulae FimA タンパクの歯周病用ワクチンへの応用	仲野 道代	30
	谷口 礼	九州歯科大学 大学院	転写因子 NF- κ B による骨代謝調節機構の解明と小児続発性ステロイド性骨粗鬆症治療への応用	牧 憲司	30
	石岡みずき	東京歯科大学	n-NOS ノックアウトマウス歯肉における各種 NOS および SOD の発現	新谷 誠康	30
	萩原 孝	明海大学 歯学部	フッ化物存在下における亜鉛濃度の違いがエナメル質石灰化に与える影響	渡辺 茂	30
	奥野 瑛	岩手医科大学 歯学部	循環型のフッ素塗布装置による歯質強化	田中 光郎	30
	大原 紫	広島大学 大学院	小児う蝕の新たな予防法開発へ向けたりスク憎悪因子の解明	香西 克之	30
	赤澤 友基	徳島大学 病院	乳歯歯髄細胞株の樹立と歯髄細胞による神経再生医療への応用法の探索	岩本 勉	30
	和田 奏絵	国立成育医療センター	乳歯、幼若永久歯エナメル質形成不全歯の修復材料に関する実験的研究	金田一純子	30
	2014	小口 莉代	日本歯科大学 大学院	バイオフィーム形成における口腔レンサ球菌宿主定着因子の機能解析	荻部 洋行
石川 未沙		日本大学 歯学部付属歯科病院	レット症候群病態解明にむけて呼吸・嚥下機能の動物モデルによる解析	白川 哲夫	30
種市 梨紗		北海道大学 病院	歯科治療が小児患者に与えるストレス-自律神経活動の変化と小児の性格特性の関連性	八若 保孝	30
小倉 英稔		朝日大学 歯学部	口唇口蓋裂児における吸啜機能の特徴と機能性評価法の確立についての臨床的研究	田村 康夫	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2014	村上 大輔	鹿児島大学 大学院	小児の口呼吸における関連因子の抽出と治療方法の確立	山崎 要一	30
	鈴木 かい	北海道医療大学 歯学部	Black stain の構成および由来歯周病原生細菌の同定	齊藤 正人	30
	筒井 廉	鶴見大学 歯学部	初期う蝕に対する新たな再石灰化療法の取り組み	朝田 芳信	30
2015	渡辺 泰平	明海大学 歯学部	睡眠中の口腔内 pH の変化	渡部 茂	30
	花崎 美華	新潟大学 大学院	運動計測システム及び視線追尾システムを用いたブラッシング時の三次元運動解析と歯垢除去効果の検討	早崎 治明	30
	大継 将寿	大阪大学 大学院	Streptococcus mutans による感染性心内膜炎における生体側の応答に関する検討	仲野 和彦	30
	高島由紀子	岡山大学 大学院	Streptococcus mutans の表層タンパクにおける唾液成分結合ドメインの解析	仲野 道代	30
	近藤 裕子	朝日大学 歯学部	母マウスの咬合障害による子マウス海馬機能障害が生後の養育環境により改善されるか	飯沼 光生	30
	高橋亜友美	北海道医療大学 大学院	エナメル上皮細胞石灰化過程におけるエピジェネティクスの関与	齊藤 正人	30
	木下 冴子	鶴見大学 歯学部	ブタエナメル質形成における TGF- β 1 の遺伝子発現、活性化、タンパク質-タンパク質間相互作用および分解について	朝田 芳信	30
	関矢 多希	東京医科歯科大学 歯学部附属病院	小児歯科治療におけるストレスモニタリング装置の開発	宮新美智世	30
	日野 綾子	東北大学 歯学部病院	アクチン結合タンパクフィラミン-A による歯根形成メカニズムの解明	福本 敏	30
	小西有希子	広島大学 大学院	遺伝性エナメル質形成不全症の早期介入を目指した分子機構の解明	香西 克之	30
2016	松田紗衣佳	松本歯科大学	GFP 移植骨髄由来細胞の実験的に引き起こしたマウス歯根膜息肉への移動と分化	大須賀直人	30
	駒澤 大悟	明海大学 歯学部	ハイブリッドタイプ急速拡大装置を用いた上顎前方牽引時の骨切り術の違いによる応力分布の差異—三次元有限要素法—	渡部 茂	30
	下村 直史	昭和大学 大学院	乳歯における S-PRG フィラーによるエナメル質力学的特性変化	宮崎 隆	30
	鋸屋侑布子	大阪大学 大学院	ヘリコバクター・ピロリ菌の口腔への定着に関する研究	仲野 和彦	30
	植原 智己	東京医科歯科大学 歯学部附属病院	RANKL 結合ペプチドを用いた顎裂部における骨再生の検討	宮新美智世	30
	岩本 優子	広島大学 大学院	グローバル時代におけるオーラルヘルスプロモーション教育システムの開発	香西 克之	30
	武井 浩樹	日本大学 歯学部	幼児期の脳皮質味覚野における摂食促進因子の影響	白川 哲夫	30
	中島 努	新潟大学 大学院	三次元運動計測システムを用いたセルフブラッシングと仕上げ磨きの動作解析	早崎 治明	30
	野川奈津子	北海道大学 病院	SLC46A1 新規変異を有した遺伝性葉酸吸収不全症に関する研究	八若 保孝	30
2017	黒澤 美絵	新潟大学 大学院	DNA を基剤とした Streptococcus mutans に対する新規抗菌剤の開発	早崎 治明	30
	島崎 絵美	鶴見大学 歯学部附属病院	乳歯生理的歯根吸収の歯根周囲組織における TGF- β の活性	朝田 芳信	30
	畠山 里那	大阪大学 大学院	ミュータンスレンサ球菌による慢性腎炎発症リスクとの関連の研究	仲野 和彦	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2017	達川 伸行	広島大学 大学院	小児におけるサリバテストの有効性の研究	香西 克之	30
	森川 優子	岡山大学 大学院	齶蝕進行に関連する <i>Streptococcus mutans</i> の膜輸送体の機能解析	仲野 道代	30
	永井 宣子	東京歯科大学	小児の有する成熟歯面バイオフィーム構成細菌種の解析	新谷 誠康	30
	鈴木あゆみ	朝日大学 歯学部	胎児期のストレスと咀嚼が脳に及ぼす影響	飯沼 光生	30
	今村 圭吾	長崎大学 大学院	<i>Porphyromonas gingivalis</i> における HtrA の構造的・機能的解析	藤原 卓	30
2018	和唐 薫子	大阪大学 大学院	ラット齶蝕-IgA 腎症関連モデルの構築	仲野 和彦	30
	林 勇輝	愛知学院大学 歯学部	歯髄・象牙質誘導因子を用いた新規生活歯髄切断後貼葉剤の検討	福田 理	30
	鎌田 弘明	日本歯科大学 大学院	離乳期雄性マウスの三叉神経節と咬筋における神経伝達物質の筋マーカー発現の比較	苅部 洋行	30
	木村 基善	東京歯科大学	象牙芽細胞分化過程における Wnt シグナル経路と FGF8 の相互作用の検討	新谷 誠康	30
	吉田 翔	岡山大学 大学院	動物由来歯周病関連菌 <i>Poryphyromonas gulae</i> 線毛の役割とその病原性の解析	仲野 道代	30
	荻原 佑介	鶴見大学 歯学部	新たな隣接面う蝕抑制材の開発と臨床応用	朝田 芳信	30
	小橋 美里	北海道医療大学 歯学部	小児における口腔内環境と歯周病原因細菌の関連性	齊藤 正人	30
	窪田えりか	東京医科歯科大学 大学院	塩基性繊維芽細胞増殖因子 (FGF2) の頭蓋冠骨形成における作用機序の解明	宮新美智世	30
2019	杉本明日菜	徳島大学 大学院	PIEZO1 シグナルを応用した間葉系幹細胞の分化誘導法の開発	岩本 勉	30
	千葉 雄太	東北大学 病院	新規歯胚形態形成因子 <i>AmeroDni</i> 関わる遺伝子制御機構解明	福本 敏	30
	相馬 久実	日本大学 歯学部	口髒部皮膚への新生児外傷性ストレスに起因する成体期における痛覚アロディニア誘導機構の解明	白川 哲夫	30
	後藤 花奈	岡山大学 大学院	<i>S.mutans</i> のバイオフィーム形成における ABC トランスポーターの機能解析	仲野 道代	30
	山本 祐士	鹿児島大学 大学院	小型 3D カメラを応用した発達期における新規口腔機能評価システムの構築	山崎 要一	30
	古澤 慧美	東京医科歯科大学 大学院	口腔粘膜炎の慢性化メカニズム解析	宮新美智世	30
	田中 亜生	東京歯科大学 千葉歯科医療センター	象牙芽細胞の感覚受容機能の獲得に関する発生的研究	新谷 誠康	30
	河合 咲希	大阪歯科大学	6-bromoidirubin-3'-oxime と低酸素培養が乳歯歯髄由来細胞に及ぼす影響	有田 憲司	30
2020	長弘 茂樹	東京医科歯科大学 歯学部付属病院	BMP-2 遺伝子導入と RANKL 結合ペプチドを用いた顎骨における骨造成法の開発	岩本 勉	30
	又吉 沙綾	大阪大学 大学院	ラット齶蝕-感染性心内膜炎関連モデルの構築	仲野 和彦	30
	宮崎 彩	徳島大学 病院	機械的ストレスによって誘導される低酸素誘導因子 HIF1 α が象牙芽細胞の分化に与える影響とそのメカニズムの解明	岩本 勉	30
	片野 雅久	朝日大学 歯学部	マウス妊娠期ストレス中の咀嚼運動が仔の海馬アストロサイトと神経細胞に及ぼす影響	飯沼 光生	30
	箕輪映理佳	北海道医療大学 歯学部	歯肉繊維芽細胞に対するフェニトイン (PHT) の作用	齊藤 正人	30

年	氏名	助成時の所属	研究テーマ	推薦者	支給額 万円
2020	鈴木 絢子	新潟大学 医歯学総合病院	小児特異性を有した魚うろこコラーゲン製三次元培養口腔粘膜の開発	早崎 治明	30
	原 詩歌	九州歯科大学	パン酵母 β -グルカンは dectin-1 を介して破骨細胞分化を抑制する	牧 憲司	30
	茂呂 歩美	鶴見大学 歯学部	S-RPG フィラーを配合した乳歯用コンポジットレジン修復における経年的評価	朝田 芳信	30
2021	棚瀬 稔貴	東京歯科大学	アルカリフォスファターゼ高発現による低フォスファターゼ症モデルマウス歯と下顎骨への構造の影響	新谷 誠康	30
	飯島 孝太	明海大学 歯学部	小児歯科排水からの SARS-CoV- 検出の検討	星野 倫範	30
	笹川 祐輝	新潟大学 大学院	口唇機能の発達評価に基づく食事支援方法の確立にむけて	早崎 治明	30
	門田 珠実	大阪大学 大学院	口腔におけるヘリコバクター・ピロリ菌と全身疾患の関連性の検討	仲野 和彦	30
	松村 幸恵	日本大学 歯学部	下行性疼痛抑制経路の可塑的变化に及ぼす小児期の恐怖ストレスの影響	白川 哲夫	30
	田畑 佳子	岡山大学 大学院	非アルコール性脂肪肝炎患者が保有する Streptococcus mutans の分子生物学的解析	仲野 道代	30
	藤田 祐介	北海道医療大学 歯学部	バイオアクティブ能を有する新規グラスアイオノマーセメントの開発	齊藤 正人	30
	中野 将志	広島大学 病院	潜在型 TGF- β 結合タンパク質 LTBP-3 のエナメル質形成に関する遺伝子抑制メカニズムの解析	光畑智恵子	30
2022	岩田こころ	東京医科歯科大学 大学院	歯胚特異的に発現する von Willebrand factor D and EGF domain (Vwde) 遺伝子の歯胚発育過程における役割解明	岩本 勉	30
	末廣 雄登	大阪大学 大学院	死菌処理した Streptococcus mutans の感染性心膜炎に対する病原性の評価	仲野 和彦	30
	浅海 春華	岡山大学 病院	Streptococcus mutans のバイオフィルム形成に関連する新たな病原タンパクの解析	仲野 道代	30
	趙 継美	北海道大学 大学院	小児がんに対する抗 GD2 抗体を用いた光免疫療法に関する研究	八若 保孝	30
	秋友 達哉	広島大学 大学院	天然由来成分 Hydroxy- α -Sanshool の有する齲蝕抑制効果の解明	野村 良太	30
	吉安 慧人	朝日大学 医科歯科医療センター	S-PRG フィラー含有ペースト及びマウスガードによる初期齲蝕病変の再石灰化のメカニズムの解明	齊藤 一誠	30
	金森 大	明海大学 歯学部	小児歯科ユニット排水からの SARS-CoV-2 検出の検討 2	星野 倫範	30
	川崎 朋子	鶴見大学 歯学部	乳歯列期における上唇小帯の形態と付着位置の経時的変化に関する研究	朝田 芳信	30